

1 企画内容

(1) タイトル 「湖西市の魅力あるヒト・モノ・コト・バシヨ」

(2) 内容

自分たちが住む湖西市の隠れた魅力を発掘・再発見し、それを市内外へ発信するためのオリジナル探究冊子「KOSAI CITY Magazine (湖西市の魅力あるヒト・モノ・コト・バシヨ)」を企画・制作した。

制作にあたっては、インターネット上の情報に頼るのではなく、町中へのポスター掲示を通じた市民アンケートの実施や、生徒自身でアポイントメントをとり、市内約 30 ヶ所へ直接取材・インタビューを行った。単なる観光地紹介や食レポにとどまらず、そこで働く人の想いや歴史にフォーカスするよう意識して取り組んだ。

さらに、完成した冊子を活用し、地元中学校（鷺津中学校）を訪問して出前授業（グループワーク等）を実施した。高校生自身の言葉で地域の魅力や大人たちの活躍を語ることで、次世代を担う中学生の「地域愛の醸成」および「進路意識の向上」に寄与する活動を展開した。



冊子表紙



掲示ポスター



中学校訪問の様子

☆取材や編集作業、会議の様子



地元イベントを取材



プロの方からの編集指導



外部協力者との会議

## 2 プロジェクトの概要

### <テーマ設定>

プロジェクト始動時、湖西高校が「グローバル」を推進していることもあり、活動内容を「地域貢献」に絞って議論していた。しかし、「地域貢献とは何か」

「自分たちに何ができるのか」という課題に直面し、教室で議論を重ねる日々が続いていた。その中で、地域おこし協力隊の方から「部屋で話し合っているより、実際に出てみよう」という提起を受けた。それを契機として、商工会の方の協力の下、まずは生徒自身の足で「湖西連峰」へ登るというフィールドワークを実施した。

汗を流して登った山頂からの景色や、体験を通じて得た感動から、「湖西市には何もないのではなく、私たちが知らなかっただけだ」という大きな気づきを得た。この実体験に基づき、「高校生の視点で見つけた地域の魅力を一冊の本にまとめ、多くの人に伝えたい」という思いが芽生え、本テーマを設定するに至った。



湖西市役所の方から、湖西連峰の歴史を聞く

### <作品完成までのプロセス>

- ① **情報収集と地域とのつながり構築** 地域の「リアルな声」を拾うため、QRコード入りのアンケートポスターを作成し、町中に掲示して情報収集を行った。この活動をきっかけに、湖西市活性化に向けて活動している市民「KOSAI CITY」さん（氏名非公表）やその友人など、地域で活躍する大人たちとの新たなネットワークが構築され、湖西市商工会の方と、地域おこし協力隊の方を加え、外部協力者4名による強力なサポート体制が整った。
- ② **取材活動の展開（試行錯誤と成長）** 収集した情報をもとに、湖西市の人、市内の飲食店、史跡、企業など約30ヶ所の取材先を選定した。生徒自身で電話によるアポイントメント交渉を行い、現地でのインタビューや写真撮影を実施した。取材を断られるなどの困難や失敗も経験したが、チームで協力し、半年間をかけて粘り強く現場の声を拾い集めた。
- ③ **編集作業とプロからの学び** 集めた取材データをもとに、デザインツール（Canva）を用いて記事の執筆およびレイアウト構成を行った。その過程で、地元のプロのグラフィックデザイナーの方からデザインや編集に関する直接指導・添削を受ける機会を得て、より伝わりやすく質の高い冊子へと変わる契機を得た。
- ④ **活動領域の拡大** 取材活動を通じて地域の方々との関係性が深まり、当初の「冊子制作」という枠を超えた活動の広がりが見られた。具体的には、伝統芸能「湖西歌舞伎」へ誘われて参加、有識者会議「PICK UP 湖西」への高校生代表としての参加、地

域イベントのスタッフ従事、米農家からの直接指導による農業課題の学習など、実社会へ深く参画する主体的な学びへと発展した。



湖西歌舞伎への参加



地元イベントへの参加

- ⑤ **冊子完成と地元中学生へ授業** 完成した冊子「KOSAI CITY Magazine」を携え、地元中学校への訪問を実施。高校生がファシリテーターとなり、中学生に対して取材の裏話や湖西市の魅力を伝えるグループワークを行い、本プロジェクトの成果を地域社会へ還元した。ここでは、湖西市役所の方の協力も得て、湖西市の魅力を発信することにとっても成功したと感じる。

### ☆中学校訪問の様子



←湖西市役所の方から、中学生へ湖西市の魅力を伝える場面も



の反応も思っていたより良く興味を持っていてくれたため、自分にとっても中学生にとっても有意義な時間になって良かった。この活動を通して私は、自分だけで考えるのではなく多くの人と関わり行動を起こすことが大切だと学んだ。そのため、人との関わりを大事にし、思いついたら行動するというのをこれからの生活に活かしていきたい。

私は湖西市のためになにかしたいと思い参加しました。取材したときは、始めた頃は電話するのに恥ずかしくて思うままに話せず緊張していましたが、実際に人に会うと電話したときより緊張がほぐれ、いろんな考え方や価値観が知れて自分を見つめ合うことが出来ました。1番大変だったことは、一冊の本にするために文を正しく作ることです。文を作ることがあまり得意ではなく間違えては書き直して、を繰り返しました。一つのページが完成したら、取材先に最終確認してもらい修正をしました。完成したときは達成感がとてつもなくありました。今まで諦めずに頑張ってきて良かったと思いました。この冊子を中学生に向けて発表しました。中学生に向けて発表してみたことは、案外あちらが緊張してこちらが盛り上げる努力をしないと空気が重かったことです。お陰で、初対面の人にあまり緊張せずに話すことができました。私はこのドリーム・プロジェクトに参加してコミュニケーション力、人前で発表する力、canvaの編集ソフトを駆使する力などが身に付き、そして湖西市の魅力の人々に伝える力がつきました。私はこれから、これらを活かして積極的に活動に参加したり、人脈を広げていったりしたいです。私はこのドリーム・プロジェクトに参加してよかったと思っています。

私がドリプロに参加した理由は、最初ただの興味本位でした。それがやるにつれてだんだん自分の地元である湖西市について知ろうと思いはじめ、結果みんなと一緒に目標であった冊子を作ることができました。私は湖西歌舞伎とナカヤマクレープ、パピヨンに取材しました。湖西歌舞伎は実際に同メンバーであるれいかさんと役をやらせていただき交流もあったのですんなり取材できました。ナカヤマクレープとパピヨンは自分でアポを取って取材しないといけなかったのが難しかったり、取材する内容もお店によって変えていました。アポ取りはしたことなかったのが断られたらどうしようという不安がありました。優しく取材を受けてくださって貴重な体験になりました。一番大変だったことは、実際に取材した場所の記事を作ることでした。記事を作った本人はもちろん、取材先のお店の評価にもつながることなので慎重に作り、お店を最大限アピールできるように工夫をしました。実際に記事が完成して冊子になって手元に実物が来たときに感動よりも達成感が強かったです。私達の記事一つ一つが冊子となり湖西市をよりPRできるものになったことを、とてもを誇らしく思います。実際に冊子を中学校へ持っていきそれを私達が中学生へ紹介しました。紹介しているうちに知らなかったことを知ってもらえる喜びに気づき、この活動をやっていたよかったと思いました。ただ、この冊子ができたから完成ではなく湖西市にあるお店や市役所など人目のつくところに置いてもらってこの活動を引き継いでいただくことが一番大切だと思っています。この冊子を読んでもらった若者がこの活動をやってもらえることを願っています。

私はこの企画で冊子が完成した時、ただただ圧倒されました。特に自分の書いた取材ページです。大勢の方に読んでいただく冊子なので、配色や言葉の選び方に最後まで試行錯誤を繰り返しました。そのおかげで、こだわられた部分が多いと思います。人生初の初対面の方への取材で、第一印象、取材の仕方などにずっと不安がいっぱいでした。意を決して訪ねてみると皆さん笑顔で迎えてくださって、緊張する事もありましたが聞きたい事を深掘りして取材が出来ました。私はこの企画に携わった事で同世代の子達よりも何か一步踏み出せた様な気がします。参加させていただきありがとうございます。とても貴重な体験でした。

先生に誘われて面白そうと思って参加しました。取材していく中で大変だったことは身近にはいない大人とのコミュニケーションでした。失礼のないように、そして、丁寧に対応することを心がけしました。だからこそ、完成したときにはなんとも言えない喜びでした。またその後の中学校訪問では、中学生にわかりやすく伝えるかを一生懸命に考えました。実際に行ってみてとてもいい経験だったと思いました。これからは、取材の時の対応と中学校訪問で学んだわかりやすく楽しく伝えることを部活の後輩の指導などに活かしていきたいです。

私がドリーム・プロジェクトに参加した理由は、経験が欲しかったのとドリーム・プロジェクトで活動して思い出を作りたかったからです。取材は想像よりも大変でしたが湖西市のたくさんの魅力に触れることが出来、人の優しさや温かみを感じる事が出来ました。いちばん大変だったことはキャンバでの編集です。読者の皆さんがどうすればもっと興味を持てるのか、見やすい物にするために色々な事を試してみて素敵な物にするために頑張りました。完成する事が出来た時にこれまでの努力やメンバーの皆と協力した喜びを得られました。本当に嬉しかったです。このドリーム・プロジェクトの活動で沢山の学びを得られ、今後の人生の学びに活かしていきたいと思います。

この活動を通して、湖西には知らなかっただけでたくさんの文化やお店があるんだということを初めて知りました。冊子制作をしていて大変だったことも色々ありました。自分でアポを取って取材して、それを自分たちの言葉でまとめるという工程はとても難しかったです。どうしたら見る人が分かりやすく湖西の魅力を知ることができるのか考えて、試行錯誤しながら頑張りました。大変な事ばかりではなく、素敵な出会いもありました。私はドリーム・プロジェクトの活動がきっかけで2025年の湖西歌舞伎の公演に出させていただきます。人生でなかなか体験のできない事をやらせてもらって、とても良かったです。演技だけでなくお話しで使う舞台セットも役者の方がやっていて、キラキラした演技の裏側にはこんな苦労があるんだということを学びました。商工会の方や市役所の方ともたくさん交流ができて、本当に貴重な体験をしたなと思いました。とても良かったです。